

めぐみ厚生センター センターだより


第 319 号
発行 2010年9月15日

佐賀市緑小路1-3
社会福祉法人
めぐみ厚生センター
めぐみ園 0952(34)7722
富士学園 0952(63)0107
ウイズ富士 0952(51)0063

発行者 栗林 恵一
事務局 0952(25)2797
印刷所 (株)古川総合印刷

先日、教会の前にケアホームが設立されました。久留米の社会福祉法人が立ち上げたもので、六カ所目のケアホームです。知り合いの女性の設立者は、数年前、「ここは、前に教会があり、その向こうには、市の児童センター・保育園がある。ここに地域の人々が、『群れる』ことのできる場所を造りたい」と言われました。当時は夢か理想のように思っていました。昨年から準備が始まり、今年、実現に到った次第です。現在、養護学校の生徒さんたちが、ヘルパーの支援と、保護者である、お母さまがたの関わりを受けつつ、共同生活を始めています。

第一の主眼点は、利用者にとって、このケアホームが、快適で安全な、安心できる生活の場となるということであり、それに向けて支援態勢をつくるということですが、その取り組みの中には、振りかぶって言えば、人間が人として生き合うことが凝縮されているように思います。まず、利用者たちが、家とは違う面を体験しており、自己発揮をしています。また、あるヘルパー



「人間社会の再生と
活性化をもたらし福祉観を」

日本キリスト教会久留米教会牧師
めぐみ厚生センター 監事 枝松博展

は、「利用者の方々に関わらせていただいて、わたしが癒されている」とも言っています。最初の構想である「地域の人々の関わり」は、これからですが、「便利さと効率」の中に内包されていた負の蓄積によって、「無縁社会」となった今日の社会状況の中で、ケアホームの取り組みは、地域に新しい生活空間を創りだしていくでしょう。

依頼を受けて、筆者も世話人として関わっています（ヘルパー資格もとりました）。実際には、戸惑いを覚える面が多くありますが、しかし、同時に、そこには新しい世界の息吹を感じさせられてもいます。

このようなケアホームと比べると、めぐみ厚生センターは、その規模において大きな施設ですが、福祉の基本は変わらないことではないかと思えます。

第一に、利用者にとって、第二に支援する介護者にとって、そして、第三に利用者と施設に深い関わりを持った家族や地域のコミュニティにとって、めぐみ厚生センターのような福祉施設が、参加と協同のもと、それぞれが必



要とされる、「安心社会」を実感させられる場となるように願うものです。福祉は、社会の消極的領域に見られがちですが、そうではなく、今日では、むしろ、社会資源を多く含み、人間社会を創生・再生し、経済をも活性化していく積極的領域であるとの「福祉論」も称えられています（スウェーデンの例）。めぐみ厚生センターが、そのような福祉の持つ積極的な面を実感させる実例となり、将来の社会を創生していくような福祉法人となるように、共に展望をもって、研鑽していくものでありたいと願っています。

そして、それは、創立の原点に絶えず立ち続けることによって可能とされたいくものでもあるのです。

めぐみ園

七夕☆会食

七月七日、家族の方を招いて会食会が開かれました。食堂には、ちらし寿司など、利用者の方の好きな料理が多く並べられ、家族や職員と共に、美味しく、楽しい一時が過ごせました。



皿に取ったら一歩はなれましょう



短冊の願いは？



皮膚科検診

七月二十二日、ながせ皮膚科の永瀬医師に往診に来て頂き、検診を受けました。

頭の前から爪先まで、利用者一人ひとり時間をかけて診て頂きました。

利用者の皆さんは、毎年（夏季・冬季）二回検診をして頂いているためか、あまり緊張することもなく穏やかな雰囲気の中で終了しました。

冬季の検診では、白癬以外で足の血行障害（凍瘡）ができる利用者の方が多かったのですが、季節も夏季となり治癒と診断された利用者の方が増えていました。

今後は、冬季に向けて一人ひとりが身体に気を配りながら過ごしていかなければいけないと改めて感じました。忙しい中、検診ありがとうございました。



ふれあい夏祭り

八月五日「ふれあい夏祭り」が開催されました。開始の数時間前には小雨が降り、開催できるか心配されましたが、開始時刻の十八時には夏の日差しも戻り、無事オープニングを迎えることができました。



ドキドキのオープニング!!

今年のオープニングはめぐみ園のソーラン隊で始まりました。久しぶりの地域の皆さんの前で披露となりましたが、力強い踊りを披露することができました。



毎年ありがとうございます

続いて、「歩絵夢」の皆さんのリズムダンス、「東与賀伝承芸能銭太鼓を育てる会」の皆さんによる「銭太鼓」を披露していただき、夜店の開店となりました。

夜店が開店すると、焼きそば・やきとり・フランクフルト・あげたこ・ジュース・アイスの各コーナーに長い列ができていました。

人気のラムネの早飲みが始まると、応援するかけ声で大変盛り上がりていました。

日頃お世話になっている新栄・にちりんボランティアの皆さんの提案により「炭坑節」を利用者の皆さんと会場の皆さんと一緒に踊ることになり、地域の皆さんとの交流を深めることができました。

抽選会も盛大に行われ、最後に火花が打ち上げられました。

今年も共催の佐賀市社会福祉協議会東与賀支所をはじめ、東与賀商工会青年部・ボランティアの皆さん

の協力により盛大に夏祭りを開催することができました。大変ありがとうございました。



だれが早いかな



各コーナー大行列です



富士学園・ウイズ富士
 ☆交歓のタバココレクション2010☆
 ～8月7日 富士学園にて～

夏もやっぱり
カレーが
一番!

甚平姿、
パッチリ
決まってる?

今年も
暑かねえ～



心を思い出
させてくれ
るような気
がいたしま
した。

残暑が厳しく、暑い日が続きますが、
 いかがお過ごしでしょうか。
 さて、富士学園の日中活動、創作活
 動科では、普段は小機能活動（ワーク
 や塗り絵、パズル等）や軽運動、ドラ
 イブ、カラオケ等を行っています。例
 年に比べるととても暑い日が続いてい
 るため、今年からミニプールを利用し
 て水浴びを行いました。
 普段はワークやパズルを黙々と取り
 組んでおられる方も、ミニプールを見
 ると大はしゃぎ。気持ちよさそうに過
 ごされていました。
 エアコンや扇風機といった文明の利
 器も暑い日は熱中症対策としても必要
 ですが水浴びを行う風景は風情があっ
 て日本人の
 心を思い出
 させてくれ
 るような気
 がいたしま
 した。

富士学園
 創作活動科 く水浴び風景く

季節の花の直
 売も行ってい
 ますので、お
 気軽に遊びに
 来てください。

ウイズ富士
 ウイズ富士各科紹介（第一弾）



サルビア育成中

花苗の育成に
 励んでいます。
 現在は秋
 （九月四日予定）
 納品及び植え
 込み（唐人町
 花いっぱい運

農芸I科八名、農芸II科九名、農芸
 III科八名、計二十五名の利用者と、佐
 賀市役所との年間契約で市内の公共施
 設へ夏、秋、冬に花苗の納品と植え込
 み（一部）を
 行う為、日々
 花苗の育成に
 励んでいます。
 現在は秋
 （九月四日予定）
 納品及び植え
 込み（唐人町
 花いっぱい運



パンジー鉢上げ

ふれあい



職場体験学習

八月十八日～十九日の二日間、東与賀中学校二年生男子二名、女子二名の生徒たちが職場体験学習に來られました。

男子は、軽作業班で、木工作业や除草作業に取り組まれ、女子はクリーニング班や手工芸班でそれぞれに利用者と一緒に作業活動を行い、日中活動班ではレクリエーション活動を共にしました。

二日間、利用者と一緒に過ごした経験をこれから活かし、将来の夢に向かって、いろいろチャレンジし勉強にも頑張ってください!!



聖句

兄弟たち、万一だれかが不注意にも何かの罪に陥ったなら、「霊」に導かれて生きているあなたがたは、そういう人を柔和な心で正しい道に立ち帰らせなさい。あなた自身も誘惑されないように、自分に気をつけなさい。互いに重荷を担いなさい。そのようにしてこそ、キリストの律法を全うすることになるのです。

(ガラテヤの信徒への手紙 六章一～二節)

ドッグセラピー

七月九日、富士学園にドッグセラピーチーム『フレンドリー』の方々がおいえになりました。四匹のわんちゃんが登場すると、最初は皆さんやや緊張気味でした。

しかし、芸達者なわんちゃんたちとのふれあいを通して、次第に皆さんの表情にも笑顔が見え始めました。直接わんちゃんに触ると、皆さん嬉しそうなお表情をされ、可愛いわんちゃんに大変癒されていらつしやいました。



皆様ありがとうございました
(七・八月分)

◎法人へ

- 西宮中央教会様より 寄付
- 藤田 浩喜様より 寄付
- 松本 榮次様より 寄付
- 牧原 文男様より 寄付

◎めぐみ園へ

- 新栄ボランティア様より バスマットを寄贈
- 森永 弘太様より 地デジ対応テレビ三台寄贈

- 「ふれあい夏祭り」に來賓・家族の皆様より 寄付

◎富士学園へ

- 「交歓の夕べ」へ來賓・家族の皆様より 寄付

|| ご案内 ||

『ふれあいの広場』を開催します

日時…十月三十日(土)十二時より

場所…佐賀市緑小路 旧めぐみ園

◎バザー、山菜おこわ、タコ焼き等の販売のほか、野点などの催物も予定しています。是非おいで下さい。



何でもコーナー

熱中症に注意!

佐賀県の過去最高気温は、一九九四年七月十六日三十九・六度をピークに十八日まで三十九度台が続きました。それでもこの年は、お盆過ぎには、猛暑日が少なくなっています。

今年はお盆を過ぎても猛暑日が連続しており、九月いっぱいには、三〇度台の気温が続く予報が出ています。「気温二八度、湿度七十%超で冷房を」と専門家は言っています。例年熱中症のピークはお盆ごろですが、今年はまだ注意が必要です。

汗や排せつ物で体外へ出た水分を、食事や飲み物をとることで補うことが水分補給。一、水分をとる、二、その時に塩分と一緒にとると吸収回復が早い、さらに糖分を加えると効果的。年齢に関係なく熱中症はかかる可能性があります。十分な注意が必要です。

あとがき

一〇月一日に、めぐみ厚生センターは創立六〇周年を迎えます。今後もセンターを利用してくださる皆様へよりよいサービスが提供できるよう職員一同日々努力してまいります。